



命はミラクル

妊娠、出産はとても大変なことと知り、それを考えながら、もらった命を大切に生きていきたいです。



赤ちゃんが生まれてくるのは本当にすごいことだということがわかりました。保健の授業で少しは学習していたけど、話を聞いて生まれるまでのお母さんの心情や苦勞について知ることができました。私は子どもが好きなので30歳くらいまでに生めたらいいなと思っています。今日学んだ出産するときのこと、妊娠しているときのことなどを参考にしていきたいと思います。そしてたくさんの愛をその子にあげたいし、公共の場などで小さい子どもを連れている人や妊婦さんなどがいたら譲ってあげられるものは譲ったり、笑顔で見守れる人になれたらいいなと思います。

助産師さんの話を聞いて、出産の大変さや命の大切さを知ることができました。お母さんも頑張るけどそれだけじゃなくて周りのサポートがあることによって今私たちが生きているんだと思うと、もっといろんな人に感謝しなきゃいけないと思いました。また妊婦さんを見つけたらバスや電車の席を譲るなどの気遣いを自分もしようと思いました。

人間が生まれることは改めて素晴らしいことだと感じました。それと同時に、女の人はずいなのと思いました。赤ちゃんが1番頑張っていて上手に出てきているのを知って驚きました。

赤ちゃんが生まれてくるのは、お母さんがいるからだけど、赤ちゃんも自分の力で出ようとしているのを知ってすごいなと思いました。人形を抱っこすると、意外と重くてびっくりしました。妊婦さんは、いろんな心配をして大変だから、男の人が気遣うのが大切だと言うことを知れてよかったです。性についての話もあって、「性と生まれてくることの関係」は切り離せないんだなあと感じました。将来どうなるかわからないけど、このことをしっかり覚えておきたいです。



私は、助産院で家族や助産師さんに看取られて生まれてきました。今の自分がいるのは家族や支えてくれた周りの人たちがいたからこそなんだと改めて幸せを感じました。赤ちゃんを産んだり育てたりするのはすごく大変なことだと思うけど、赤ちゃんの笑顔や家族みんなで笑っている時、すごく幸せを感じるのだろうなと思いました。自分が『今』を生きていることに感謝してもっと笑顔あふれる毎日になりたいなあと感じました。

性に関する学習を行いました。

1年生は、**思春期の心とからだの発達や特徴を理解する**

生命の尊さに気づき、自他を大切に育むをテーマにしています。

12月14日(月)、助産師の大田祐子先生を講師に『命はミラクル』と題して、第二性徴、妊娠、出産についてお話をいただきました。その感想を紹介します。



感想

体験コーナーの時、赤ちゃんってこんなに重いのかと感じました。僕は末っ子なので、全く赤ちゃんを抱いていなかったのが、びっくりしました。あと、妊娠している人は本当に苦しいんだなあと感じました。僕は妊婦さんがどういう風に辛いかわからなかったから、いい機会だと思いました。

今日、助産師さんの話を聞いて、赤ちゃんはできたら全員産めるものではなく、おなかの中で死んでしまう人もいるのだなあと初めてわかりました。今考えてみると、自分がこうやって生きていることは1つの奇跡なんだなあと感じました。

改めて赤ちゃんってすごいんだなあと感じた。私は前まで1番頑張っているのはお母さんと思っていたけど、赤ちゃんを知って驚いた。陣痛にも休憩があると知り、ちょっと不安がほぐれた気がした。私は赤ちゃんを生みたいと思っている。でも、その赤ちゃんは本当に信頼している人と作るべきだと改めて感じた。



赤ちゃんの人形を抱いてみて、とても重かったです。そんなに重いのにずっと抱っこしているお母さんはとてもすごいと思いました。

今日の話聞いて、赤ちゃんが生まれてくることは当たり前なことじゃないんだなあと感じました。生まれてくる前に死んでしまったりする子もいるということがわかりました。



君は君であって君以外の何者でもない

2年生は、『男女の特性・性差を理解させ、互いの人格を尊重し合う』『性の多様性を認め合い、肯定的に理解する』を目標にし、1時間目は、男女の性心理の違いを学習した上で、事例をもとに中学生の交際について考えました。2時間目には、多様な性『LGBT』について考えました。『LGBT』について考えたことや授業後の感想を紹介します。



カミングアウトしたいのに、できない人がいるとしたらそれはどうしてでしょう？

- ◆世の中がLGBTについてあまり理解していないから。
- ◆打ち明けることで何を言われるかわからないし、これを言うことで親からなんて言われるかわからないから。
- ◆全員が理解していないから。
- ◆自分は人と違っていると思っているから。
- ◆恥ずかしい。
- ◆カミングアウトすると気持ち悪がられたり変な目で見られたりしないか不安だから。
- ◆理解してくれるかどうか不安。カミングアウトして否定された時が一番苦しいと思ったから。相手の反応が怖い。

もし仲の良い友人から自分がセクシャルマイノリティーであることを打ち明けられたら、どう答え、接していきたいと思いますか

- ◆まずは「教えてくれてうれしい」と感謝します。打ち明けることは簡単なことではないし、それは打ち明けてくれたことに感謝する。打ち明けてくれたことによって相手のことをしっかり考えることができる。いろんなことに考慮して行動したり、アドバイスとかをしていけるようになるから、もっと深く接していけると思う。
- ◆教えてくれて嬉しかったことを伝え、自分は自分らしくすれば良いと伝え、今まで通り普通に過ごす。相談等ならいつでもなると言う。
- ◆何をされたら嫌なのかなど聞いて、責めるのではなくこれまでと同じように接する。
- ◆全然いいと思う。もし、恋バナとかなったら、その人のことを考えて話す話す。そういう人が同じクラスに入るとわかって話す。
- ◆今まで通り+相手に向き合っただけ。
- ◆初めて聞いた時はびっくりすると思うけど、その人がそういう人だとちゃんと理解して明るく普通にいつも通り接してあげる。
- ◆辛かったらどうしたらいいかとあえて親身に話を聞く。

感想

- もし友だちからカミングアウトされたらどう接するかについて、紙には今までどおり接してあげると書いたけど、実際はどうなのかわからない。もしその友だちから、自分のことを恋愛対象と言われたら、気まずくなって今までどおり接することができなくなるかもしれない。LGBTは難しいです。でも相手のことを認めてあげるということはできる。君は君であって君以外の何者でもない。そう言ってあげたいと思っている。
- いろいろな人がいていいと思いました。いろいろな人がいるからこそ、この世の中は成り立っていると思いました。人の個性を受け入れることは、難しいと言う人もいますが、すべての人が個性を受け入れられる人になればいいと思いました。
- 性別が100%男、100%女なんて人はいないと思います。私だって、女だけど男っぽい言葉遣いになったりするし、服装だって男っぽいのが好きだったりします。「LGBT」は個性の一種です。「気持ち悪い」と言うのはおかしいです。ちゃんと世界中がひとりひとりを理解して認められる世の中になってほしいと思います。
- そういう人がいるということをちゃんと理解しようと思いました。私たちの周りにもそういった人がいるかもしれませんが、もしもそういう人たちにであったりしても否定せずまっすぐに向き合っただけが大切だと思いました。LGBTの人を差別したりする人もいますが、自分はしてはいけないということをしっかりと頭においておきたいです。
- LGBTについて知ってたことが多くて、自分でもビックリした。人それぞれだから、否定したり笑ったら絶対ダメなんだと改めて認識したし、無意識にLGBTの人を困らせてるのかなと思うとぞっとした。

